

大分市立坂ノ市小学校 学力向上プラン

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	1. 各種学力状況調査結果から ・国語・算数ともに、6年B問題、4・5年活用力を問われる形式の問題、思考力表現力が必要な問題ができていない。 (−1.5〜−4.8点) ・国語科では、「漢字の読み書き」を苦手としている。(−3.4点) ・算数では、「量と測定」を苦手としている。(−1.8点) 2. 単元末テスト結果から ・国語では、「書く」「言語」で目標値に届かない学年がある。 ・算数では、4〜6年で「数学的な考え方」が目標値に届かない。 ・各学級に50点未満の児童が1〜3名いる。	1. 各種学力状況調査アンケート結果から ・成功体験や感動体験が少なく、自分に自信がない児童が多い。 ・思いを伝える力や問題解決力が低い。 2. 児童アンケート、学習アンケートの結果から ・「学校に行くのが楽しい」と答えた児童…85.4% ・「授業はわかりやすい」と答えた児童…88.7% ・「本を読むのが楽しく、たくさん本を読んでいる」…76.7% ・「進んで話し合いに参加し、自分の考えを発表する」…82.3%
指導の状況	1. 組織的な授業改善 ①指導方法の工夫・改善。 3年…少人数指導(等分) 4年…TT指導 5年…少人数指導(2学期より) 6年…習熟度別指導(2学期より) ②生徒指導の三機能を生かし、子どもが主体的に学ぶ授業展開。 (達成率…64%) ③「めあて」「課題」「まとめ」を位置づけた1時間完結型の授業展開。 (達成率…88%) ④板書の構造化とノート指導。(達成率…64%) ⑤一人1回以上の公開授業。(提案授業 or 互見授業)	2. その他の学力向上に向けた取組状況 ①ペアやグループ活動を取り入れた指導。 ②小中一貫教育による9年間を見通した学習指導の取組強化。 ③学習規律の徹底。 ④読書活動の推進。(学年ごとの年間目標の設定) ⑤チャレンジタイム(朝時間)に基礎基本の定着を図るドリル・プリント学習の実施。 ⑥ユニバーサルデザインを取り入れた学習、学習環境。

学力に関する達成指標	○各種学力調査 4年…大分市標準学力調査 …市平均点以上 5年…大分県学力定着状況調査 …県平均点以上 6年…全国学力・学習状況調査 …全国平均点以上 ○単元末テスト 学年平均点80点以上 80点以上の児童80%以上 50点未満の児童5%以下	○教師の授業力向上 ・「めあて」「課題」「まとめ」を位置づけた板書(実施率100%) ・生徒指導の三機能を生かした授業(実施率80%以上) ・一人1回以上の公開授業(実施率100%) ○その他 ・読書量のアップ(学年目標達成率90%以上) ・家庭学習の提出(100%)
------------	---	--

	【授業改善】	【家庭・地域との連携】	
今年度の具体的な取組	(授業改善テーマ) 生徒指導の三機能を取り入れた主体的・対話的な学びを (授業改善の重点) 促す授業づくり 1 主体的な学びを促す授業の推進 2 対話的な学びを位置づけた授業の推進	(改善テーマ) 家庭・地域・学校の協働の下、保護者や地域住民が参画し、地域全体で子どもを育てる	
	(取組内容) 《自己決定・自己存在感を感じる授業》 ○多様な考えの出せる学習課題がある授業 ○「めあて」「課題」「まとめ」を位置づけた1時間完結型の授業 ○自分の考えをまとめ、書いたり話したりする活動がある授業	(家庭・地域の取組内容) ○家庭の教育力の向上 ・家庭学習の励ましと見守り ○積極的な学校支援 ・学習サポーターやボランティア活動への積極的参加	
	(取組指標) ○多様な考えが出せる学習課題の提示(90%以上) ○「めあて」「課題」「まとめ」を位置づけた構造的な板書(100%以上) ○個の考えをまとめたり、書いたり話したりする活動(100%)	(家庭・地域の取組指標) ○「早寝」「早起き」「朝ごはん」を中心に、生活リズムの定着(95%以上) ○学習サポーターや地域人材を活用した授業の実施(各学年1回以上)	
	【その他の学力向上の取組】 ○言語活動を支えるスキルやマナーの向上(聞き方・話し方のスキル学習、学習規律の徹底) ○教師の授業力向上研修(一人1回以上の公開授業、3教科部会での教科研修) ○基礎・基本の定着を図る個別指導や補充学習(チャレンジタイムの内容の吟味と確実な実施、家庭学習の確実な実施等) ○小中一貫教育の推進		
今年度中の取組内容	《多様な考えが出せる学習課題の提示》 ○学習課題を検討し、授業に臨む。 ○授業後に評価し、次に生かす。 《「めあて」「課題」「まとめ」の位置づけ》 ○カードを位置づけ構造的な板書にする。	《考えを持たせる時間の確保》 ○考える時間を確保する。 ○考えを書く活動を行う。 《ペアやグループによる言語活動》 ○ペアやグループでの交流を行う。	《家庭教育力の向上》 ○生活習慣の定着(早寝・早起き・朝ごはん) ○宿題提出率の向上 《外部人材の活用》 ○学習サポーター、読み聞かせボランティア